

## 教育プログラム・コースの概要

大学名等	宮崎大学大学院看護学研究科 修士課程 看護学専攻						
教育プログラム・コース名	がんと共に生きることを支えるがん看護専門看護師養成コース						
対象者	3年以上の実務経験を有する看護師（がん看護の実務経験2年以上）で、コース終了後、地域のがん医療に貢献する意思のある者						
修業年限（期間）	2年						
養成すべき人材像	がんに関する専門的知識、卓越した実践能力、看護職への教育およびコンサルテーション能力、保健医療福祉関係者間のコーディネート能力、倫理的調整能力、がん医療の向上・開発のための研究能力を有し、診療の場を問わずに切れ目のない質の高い緩和ケアを提供し、がん患者が地域の中で安心して働き暮らせることを支援できる看護師を育成する。						
修了要件・履修方法	大学院修士課程に2年以上在学し、臨地実習を含む授業科目を34単位以上修得し、かつ必要な研究指導を受けて修士論文を作成し、審査に合格すること。						
履修科目等	<p>&lt;必修科目&gt;看護倫理実践論（2単位）、がん病態・治療学、がん看護学特論Ⅰ・Ⅱ、がん看護援助論、緩和ケア論、ターミナルケア論、がん看護学実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ（6単位）、実践看護師育成特別研究（8単位） 計28単位</p> <p>&lt;選択科目&gt;看護研究方法論（2単位）、看護実践方法論、看護コンサルテーション論、看護教育実践論、看護管理実践論の中から6単位以上。</p>						
教育内容の特色等（新規性・独創性等）	医療資源の乏しい地域のがん医療への取り組みやがん患者の仕事と治療の両立への支援方法を学ぶために、多職種連携教育の導入やがん診療に関する地域データを利用した教育を実践する。臨地実習施設のがん看護専門看護師や各診療科のがん治療専門医からフィジカルアセスメントを学び、高度実践のスキルを学ぶ機会を提供する。さらに、学术论文の抄読会や研究発表会を通してがん看護研究の推進を図る。						
指導体制	看護学研究科担当教員、医学獣医学総合研究科担当教員、本学が輩出してきた地域で活躍するがん看護専門看護師、日本のがん看護を牽引するがん看護専門看護師、臨床薬理専門教員からなる教育指導体制。						
教育プログラム・コース修了者のキャリアパス構想	がん診療連携拠点病院や地域でがん診療に取り組む医療施設、在宅医療の場において、がん看護専門看護師としてがん患者のがんとの共生を支え、がん医療の充実に貢献できる看護師を目指す。さらに、臨床経験を研鑽した後は、がん看護を教授できる教員・指導者として、また地域のがん医療向上に向けた施策を提言できる看護師として地域がん医療の充実に貢献する。						
受入開始時期	平成30年4月						
受入目標人数	対象者	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	計
	大学院生	—	2	2	2	2	8
							0
							0
							0
	計	0	2	2	2	2	8